

歸順工作ノ一斑

平山工作員ト匪首トノ會見記錄及  
同往復文書

425

1517

大同二年八月二十日

滿洲國協和會通化辦事處

平山

節

臨賊分局好歸順勸告經過報告

會見迄ノ經過

第八區方面ニ蟠居セル部下百六十余名銃器約百挺ヲ所持セル分局好歸順ノ意思アルヲ聞キ八月八日第一回密使ヲ派シテ歸順勸告書ヲ届ケシム、次イデ十三日第二回密使ヲ派シ回答ヲ促スト共ニ第八區代表農務會長及龍馬村長ヲ招致シ區民ノ意見ヲ聽取スルニ區民ハ熱望措カヅトノ事ニ歸順后ノ善后處置ニ關シ協議ス越エテ十八日別紙ノ如キ返信來ル依リテ直ニ第八分局長ニ電話ニテ連絡シ十九日午後一時第七區長流村村公所ニ會見スル事ニ決定ス

會見顛末

日時 兩ノ爲豫定ヨリ遲レテ午後三時ヨリ會見協議ス

場所 第七區長流村公所

426.

1518

出席者 平山處長、西谷憲兵上等兵、張通譯

匪賊側分局好、部下一人

八區代表第八分局長苗培基、有力者句茂軍

長流村村長冷振六

勢頭立チテ遼河ノ勸告ヲ容レテ改過遷善シ今日會見ノ機會ヲ得シ事ヲ

欣ビト挨拶シ問答ニ移ル

平山「誠心誠意歸順ノ意思アリヤ」

分局好「心カラ歸順シテ滿洲國民ニナリタイ」

平山「歸順ハ無條件ニ非ザレバ許可シナイガイイカ」

分局好「宜シイ」

平山「歸順スル部下ハ何名カ」

分局好「三十九人」

平山「武器ハイクラアルカ」

分局好「七九式及露西亞式銃二十五挺アル」

平山「オ前ハ部下百五六十人アル筈ダガ三十九人トハ如何ナル理由

427

由カ」

分局好「部下八百六十人ハアルガ之ヲ十五隊ニ分割シテ各地ニ分散シ  
テキル、三十九人ハ直屬部下イミダ」

平山「各地ニ分散シテキル部下ヲ糾合シテ一語ニ歸順スル事ハ出来  
ヌカ」

分局好「直グニハ出来ン」

平山「將來歸順セシムル見込ガアルカ」

分局好「充分アル」

平山「然ラバ明日(二十日)當所ニ於テオ前達ノ歸順式ヲ行フ、武  
器持參、部下ト共ニ來ルベシ」

分局好「武装解除サルルハ困ル、小生ノ武装ヲ解除サルンバ殘存部下  
ノ歸順勸告ハ不可能ダ」

平山「少クトモオ前八百六十人ノ頭デハナイカ、凡屬ソ士デハナイ  
事ヲ認ムル、オ前ニ熱ガアレバ武器ナクトモ部下ノ説服ハ充分  
爲シ得ルト思フ、ソレ程ノ熱ハ持テナイカ」

428

分局好「滿洲國民ト爲ツタ以上國ノ發展ノ爲ニハ何事ヲモ爲ス熱ハ有  
スルモ銃器ガナイト彼等ヲ歸順セシムル確信ガナイ」

平山「殘存部隊ハ歸順シナケレバソレデヨロシイ、オ前ガ勸告シテ  
聞カナケレバ、直ニ日滿軍ヲ派シテ第八區方面ノ大討伐ヲ敢行  
スルダケダ兎ニ角オ前ノ所持スル銃器ハ全部提供セヨ」

分局好「提供シテモイイガ銃砲ハ全部買求メシモノデソノ代金ガ未ダ  
拂ツテナイ、借金ガ七百元アルガドウシテクレルカ」

平山「オ前ハ過去一年半ノ匪賊行爲デ大分儲ケタラウ、殊ニ今年ハ  
阿片ヲ村民カラ多量徴收シタラウ、ソレデイイデハナイカ」

分局好「阿片ハ徴收シタガ人數ガ多クテ一人當三兩（時價不明）デ何  
ニモナラナカツタ借金ヲ拂ハナイト面子ニ關スル」

西谷「金ハ匪賊分局好トシテ借リタラウ、歸順ニ依ツテ匪賊分  
局好ハ解消シテ更生シタ滿洲國民廳（本名）ニナツタノダ、拂  
フ必要ハナカロウ」

平山「過去ノ罪ノ償ヒトシテ無條件デ提供セヨ、若シ面子上是非ト

429

モ仕拂フ意思ガアレバ將來様イデ拂ツタラドウダ」

分局好「武器カナイト今マデ討伐シタ外ノ匪團ニ殺サレル危険ガアル」

平山「ソノ點ハ心配無要ダ、良民保護ノ爲ニ公安局分局ガアルノダ」

充分ノ保護ヲ加ヘル事ニスル、苗分局長ノ意見ハ如何」

苗局長「充分ノ保護ヲ加ヘル、安心シテイイ」

分局好「武器 Hansonノママニシテ八區方面ノ討伐ヲサセテ戴キタイ」

平山「ソノ變則的討伐隊ハ現在滿洲國ニ於テハ認ムル事ハ出來ン

カラ駄目ダ」

分局好「然ラバ滿洲國ニ於テ何カニ使ツタイダキタイ」

平山「答ヘズ」

分局好「家ニ歸ツテモ食ヲニ困ル」

平山「歸順后ノ處置ニ關シテハ八區農商務會長及苗分局長ニ一任シ

テアル、生活ノ保證ハスル筈ダ、八區ノ代表ニ關クガ其ノ點ハ

判ツテキルドラウ」

八區代表「承知シテキル」

430

分局好「ソレデハ萬事御任セヌル」

平山「今日ヨリ良民三十九名増加セル事ニ對シ滿洲國ノ爲喜ブ、尙  
ホ他ノ匪賊改過ノ爲努力セヨ、ソレデハ明后日（三十一日）午  
后三時ヨリ當所ニ於テ歸順式ヲ舉行スル、間違ヒナク來ルベシ  
イイカ」

分局好「ヨロシイ」

平山「苗分局長モ參列シテ欲シイ」

苗「承知シマシタ、歸順者ニ對シテ身分保證書ヲ與ヘテ戴キタイ」  
平山「ヨロシイ、明后日作製持參スル」

カクテ約二時間ニ亘ル問答協議ノ結果無條件歸順ニ成功セリ終リター  
同村長心盡シノ卓子ヲ圓ミ酒杯ヲ舉ゲテ今日ノ日ヲ祝福シ滿洲國ノ萬  
歳ヲ稱グ

此ノ間滿洲國成立ノ事情及國体ヲ説キ啓蒙ス。

因ニ分局好ハ第七區ニ密出身ニシテ本名ヲ隱存徳ト稱シ齡三十九才ナ  
リ、事變前ハ農ヲ業トシ事變后唐聚五ノ自衛軍ニ入りソノ潰滅后ハ第八

431

區方面ニ蟠居シテ今日ニ及ベリ、然シテ部下百六十名、銃器百挺ヲ有  
シ縣下ノ匪團中王鳳閣ト竝ビ稱セララル大立物ナリ。

1524

432



歸順勸告書（譯文）

諸君！

此ノ王道樂土ヲ棄テ山林ニ遁キテ當世ヲ渡ル是豈味氣ナク且ツ危險極  
マル生活ニ非スヤ、蓋シ諸君ハ往々ニシテ反動分子ノ逆宣傳ニ聚リ心  
中愴慍トシテ其ノ舉止ニ迷ヒツ、アリ、茲ニ諸君ノ憂フル太平、白玉  
亭ノ處刑セララルノ已ムナキニ至リタル經緯ヲ概畧述ベシ。

太平ハ本處ノ幹ニ依リ歸順手續ヲ採リシ當時其ノ部下ハ僅ニ百二千  
名ヲ算スルニ過キズ全員未ダ歸順セザルノミカ精銳ナル兵器ヲ多數山  
中ニ藏置シ以テ後日再舉ニ備ヘ居タリ、本處ハ彼等ノ歸順ニ就キ毫モ  
誠意ナキヲ認メツツモ特別優待シ導ラ彼等ガ反省ノ促進ニ努ムル  
然ルニ屢通久シカラズシテ漸次其ノ本來ノ性質ヲ現ハシ來リ、第四區  
ニ於テ嘗テ人質トシテ拉致セルモノニ對シ身代金一十圓ヲ誅求セルノ  
事實アリ、而シテ太平腹心ノ部下白龍ハ五區ニ於テ紀警務局長ノ率ユ  
ル警察隊ニ公然トシテ挑戰シ來レルガ如キ狀況シリシテ彼等ノ改悛ハ  
所望期シ難キヲ以テ本處トシテハ之ヲ默視スルニ忍ビズ彼ノ處刑ヲ救

433

ハザリシモノナリ。

亦曰玉學ハ歸順後尙匪賊的惡性ヲ常ニ發揮シ村勳匪ノ都度惡辣ナル  
手段ヲ以テ村民ヲ蹂躪シ一方匪賊ト通ジテ人質身代金ノ分配ヲ受クル  
等彼等ノ匪行枚擧ニ違アラズ。

仍テ村民ノ怨聲道ニ充チ爲メニ當局トシテハ治安維持上ノ見地ヨリシ  
テ之ヲ處スルニ法ノ行使ヲ以テスルノ已ムナキニ至リタルモノナリ、  
諸君ハ此ノ點特ニ留意セラレヨ。諸君ニシテ若シ誠心誠意ヲ以テ歸順  
ヲ申出デシカ、本處ハ双手ヲ舉ゲテ之ヲ歡迎ス、本處長ハ日本軍司令  
官ト協商ノ結果無條件歸順ヲ許容スルハ勿論各個人ノ生計問題ニ及ブ  
點極力万全策ヲ購シ與フル方針ナリ、若シ歸順ノ意嚮アラバ早急本處  
ニ返信ヲ投ズベシ、斯クセバ本處ハ人員ヲ派シ面議折衝ニ入ラン、日  
下日滿大軍ハ徹底的討伐ヲ目指シテ着々増員シ來レハ後様ナリ、若シ  
悟ラザレバ部下ノ鬼トナルヲ免カレザルベシ、本處長ハ真心ヲ以テ歸  
順シ來レル者ニ對シテハ之ヲ極力保護スベキ事ヲ誓フ。

諸君

434

1526

何レニ去リテ何レニ從フヘキヤヲ夫遠ニ猛醒セヨ

大同二年八月十日

大滿洲國協和會通化縣辦事處長 平 山 節

435

1527

匪首分局好ヨリノ返翰（譯文）

民ハ元來商工業ニ從事シ居タル者也

然ルニ大同元年唐聚五ナル者所謂司令ニ任シ人民生殺權ヲ掌握シテ各處ノ民家ヨリ壯丁ヲ徵募シ、其ノ命ニ從ハザル者ハ銃殺ニ處スル慘狀ナリシヲ以テ民モ已ムヲ得ス自衛軍ニ投ジタル處當年九月日滿大軍入城ト共ニ唐匪四散逃走スルヤ民ハ再ヒ彼等ニ追隨セズ軍業ニ服セント決意シタルモ日滿大軍ノ自衛軍ニ對スル嚴重處罰ヲ目睹シ敢テ自宅ニ歸リ業ニ安ンズルヲ得ザリシナリ。

茲ニ於テ民ハ進退維谷リ山林ニ隱居シテ只管懼口ノ實ニ餘念無カリノ狀況ニシテ此ノ王道樂土ノ鴻恩ニ浴セラレズ匪賊シテ汚名ヲ呼ハルノ已ムナキニ至リシ今日ヲ痛ク悲シミテ息マズ、民ハ罷令匪賊ト稱セラ  
ルルモ其ノ實良民ノ財産ヲ掠奪シタルコトナク亦嘗テ匪賊的行爲ニ  
出テタルコトナキハ種々ノ事實之ヲ証シテ餘リアルニク依リテ民ノ歸  
順眞否ハ容易ニ推シテ之ヲ知ルベシ、太平、白玉亭ノ歸順後數日ヲ出  
デズシテ法ニ依リ處刑セラレンシガ其ノ歸順ノ眞偽ニ就キ未ダ何等確報

436

ニ接セザルヲ以テ歸順ヲ躊躇シ過々今日ニ至レリ、民未ダ歸順セズト  
雖モ今夏射殺シタル匪賊四五十名ニ上リ且ツ長流芝流新恒六村一帯ニ  
於テ匪賊ト干戈ヲ交フルコト數次ニ亘リタル段實處長既ニ聞知セル所  
ナラント思料ス、此ノ六村一帯ノ田畑ハ農作例年ニ勝リ而シテ六村以  
外ノ田地ハ大半蕪墟ヲ呈セル現狀ヨリ觀測スルモ民ハ民衆ニ部下一名  
宛阿片三十九匁、大洋流通票四元六角ヲ提供セシメタルコトアルモ之  
ハ我方ヨリ哀願的態度ニ出デタルモノニシテ強制的徴收ニ非ザリシハ  
容易ニ允シテ之ヲ知ルベシ、今般實處長人員ヲ派シ歸順手續ニ關スル  
一切ノ指示ヲ相煩ハストノコトナルガ民ハ双手ヲ舉ゲテ之ヲ歡迎スル  
者也、茲ニ民等ノ遭難記事ヲ試ミ併セテ實處長ニ宛大ナル處置ニ出テ  
歸順善後策ヲ講セラレ以テ民等ノ生計維持ヲ圖ラルル所有之度懇願ス  
民ハ茲ニ歸順スベキヲ決意シタルモ只猜疑措ク能ハサルハ太平、白玉  
亭ガ改悛ノ徵認メ難シトノ理由ヲ以テ其ノ部下數十名ト共ニ銃殺ニ處  
セラレタリトノコトナリ、只翼クハ一定シタル地盤ヲ賜ハリ以テ民等  
ノ生計維持ニ資セシメラレンコトヲ

437

1529

匪首王殿陽ヨリノ返翰（譯文）

拜啓時下

貴處長ヲ始メ諸氏益々御清穆ノ段賀シ奉リ候、小人茲ニ貴處ヨリノ書  
面ニ接シ、就中歸順勸告ノ一項ヲ拜讀スルニ及ヒ實ニ感激ニ堪ヘス、  
陳者小人饑客歳ヨリ逆族唐聚五ノ委囑ヲ受ケ民衆自衛軍ナルモノヲ組  
織シ四方ノ民衆同胞ヲ糾合シテ中華大國ニ於ケル舊軍閥ノ專制政治打  
破ニ當ルコト既ニ一年有余トナレリ、不幸ニシテ全軍失敗ニ歸スルヤ  
唐聚五ハ所余基金ヲ盡ク自宅ニ仕送り之ニ依リ彼ハ現在家族ト共ニ自  
宅ニ在リテ安樂ノ生活ヲ營ミツツアル狀況ニ在リ、然ルニ自衛軍退却  
後ノ部下ニシテ投ズベキ家ナク其ノ舉指ニ迷フ無賴ノ途ハ山中ニ潛伏  
シ良民ヲ擾害スルコトニ依リ糊口ノ途ヲ講ズルノ已ムナキニ至レリ、  
斯ル狀況ヲ目睹セル小人ハ其ノ凄慘事言狀スベカラサルモノアルヲ覺  
ヘツツモ如何ニセン之レ以外ニ別途ナキヲ。  
惟フニ民國二十年來日本軍ノ援助ニ依リ滿洲ニ新大國家成立シテ茲ニ  
二ケ年ヲ經ルニ及ビ東北ノ黒、吉、熱、寧四省ハ均シク滿洲國領トナ

438

レリ、而シテ舊軍閥ノ所有ニ係ル豊富ナル金融機關並ニ精銳ナル武器  
ハ日本軍ノ援助ニ依リ滿洲國民ノ救済ニ又新國家ノ後患防止ニ充テラ  
ル、仍テ東北三千万民衆ハ誰一人トシテ新興滿洲國ノ成立ヲ歡迎セザ  
ルモノナシ、例ヘ舊軍閥ニ偉人甚ダ多シト雖モ此等健全ナル國家ノ成  
立ニ反抗シ得ザルハ勿論ナリ。

小人王殿陽及其ノ部下ハ均シク東北三千万民衆同胞ノ子弟ニシテ同シ  
ク滿洲國境内ニ居住スル者ナレバ同ジ幸福ナル生活ヲ圖ラントスルモ  
ノナリ、豈滿洲國ヲ歡迎セザランヤ、反滿ノ意ヲ有スル者ハ逆賊唐聚  
五派ノ叛亂ヲ事トセル分子ニ外ナラズ。

小人ハ夙ニ滿洲國歡迎ノ意ヲ有シ林中ニ起居シテ商人百姓ニ對シ未ダ  
嘗テ掠奪擾害ヲ加ヘタル事實ナシ、時下秋涼ノ候小人一同ノ着用シテ  
ル衣類ハ襪襪ニ化シ生活難ハ愈々以テ日蹙ニ迫リツツアル現状ニシテ  
毎日常、眉ヲ閉テ能ハザリシ處茲ニ貴處長ノ歸順勸告ニ預リ我等一同ハ  
感激ニ堪エザルナリ、貴處長直ニ我等ヲ挽留收容スルノ厚意アラバ弊  
部ニ人員ヲ派遣ノ上歸順手續等ノ細目ニ關シ指示セラレ度、斯クセバ

小人直ニ部下ヲ率ヒテ山ヲ下リ歸願セン  
舊六月二十五日  
王

威

陽

446

1532